



鹿島の植物標本

将来、2019年の鹿島を知る貴重な学術資料となるかもしれない。

「記録」は未来の道しるべ

未来のために、「記録」を残し、伝えることは今を生きる私たちの大切な役目。今の私たちが残した記録は将来、進むべきを示す道しるべになります。未来のためにも、土佐清水の今をしっかりと残していきたいものです。

未来に伝える 標本のはなし

産業祭で鹿島の植物の標本を展示しました。市の文化財にも指定されている鹿島の豊かな植生の一部を紹介しています。ところで「標本ってなに？何の役に立つの？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんね。そこで今回は標本の話をしたと思います。

ある名前と呼ばれている生物（たとえばヤブツバキ）がどのような特徴を持っていてどこに分布しているか、は重要な情報です。それがないと、同じ名前と呼ばれている生物が本当に同じものなのかが分からなくなってしまふからです。そして、その情報にはあとから検証できる「証拠」が必要です。その「証拠」にあたる部分が標本です。生物の種類によって標本の作り方も様々ですが、植物の場合は平たくして乾燥させた腊葉標本さくようびようほんが一般的です。いわゆる「押し葉」や「押し花」ですね。

標本を調べることでその植物の特徴を知ることができます。また、その植物がいつどこに分布していたかを示す証拠にもなります。同じ種の植物の標本をたくさん見比べればその

ぐっちゃんの いきものバンザイ!!



種の中の多様性や分布域が分かりますし、同じ地域で継続的に採られた植物の標本を調べればその地域の自然環境の移り変わりを知る事ができます。腊葉標本のすごいところは半永久的に保存ができることです。だから100年以上前の標本を現代の技術で調べなおすことができますし、私たちが今作った標本が将来の大発見に繋がるかもしれません。

現在ジオパーク推進室ではジオの会や自然史研究会と共同で鹿島の植生を調べ、標本作製しています。これは将来、2019年現在の鹿島にどのような植物が生息していたかを示す貴重な資料になるはずです。

産業祭で展示した植物の標本は1月から市民図書館で展示しています。ぜひ標本をじっくり眺めてみてください。

(森口夏季・ジオパーク専門員)

※鹿島の植生は市の条例で保護されています。植物の採取には教育委員会の許可が必要です。

竜串ビジターセンター うみのわ
2020年3月20日 OPEN!

uminowa
うみのわ
Tatsukushi Visitor Center



ジオパーク推進室

事務所移転します！

2020年1月から、『国立公園*ジオパーク推進課』が新設され、事務所が竜串ビジターセンター内に移転します。

足摺宇和海国立公園竜串ビジターセンター（愛称：うみのわ）は2020年3月にオープン！足摺宇和海国立公園、土佐清水ジオパーク構想の自然と人をつなぎ、地域に愛される施設を目指します。

土佐清水ジオパーク推進協議会事務局

住所 土佐清水市三崎字今芝 4032-2

TEL 0880-87-9500

MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp



「作ってたべる食堂」 vol.2

下ノ段のおしぬき



「おしぬき」とは三崎の郷の地区に伝わるのハレの日のお寿司。フユイチゴというツル性の野いちごの葉っぱを使った押し寿司です。今回は、下ノ段のかあさんたちに、この「おしぬき」と「のっぺ」の作り方を教えてもらいます。

日時：令和2年1月25日（土） 9：30～13：00

集合場所：下ノ段区長場（三崎1527）

行程：下ノ段区長場に集合～下ごしらえ～下ノ段地区散策～おしぬき作り体験～田平公園にて昼食～解散

募集人員：15名

お昼ごはん：おしぬき、のっぺ

参加料：1000円（昼食代、保険料込）

お申し込み：

お名前、連絡先を明記して、1月20日（月）までに

geopark@city.tosashimizu.lg.jp までお申し込みください。

